

あしらの詩あしらの詩



詩人の詩



社団法人 日本作詩家協会 年刊詩謡集
2010年版

巻頭言

会長 湯川 れい子

この詩謡集の「きょうの詩あしたの詩」という優しい字は、星野哲郎先生がお書きになった文字です。その字をそのまま、ずっと使わせて頂いてきました。

字がもし人を語るとしたら、本当に美しい、優しい字です。いつもニコニコと楽しそうに笑っていらして、私は星野先生が怒った顔をされたのを見ることがありません。

でも、実はとても熱い、激しい炎のような心の芯を持っていらした方だとも感じてきました。時に烈火のような怒りも、口惜しさも、闘争心もお持ちの方だったと――。

そしてその闘争心が向かう先は、ライバルだけでなく、自分自身でもあったからこそ、あれだけの見事な詩を残されたのでしょう。毎朝小金井公園で、黙々と空缶を拾いながら、終始考えていらしたのは、人の心と言葉のこと。四行で書ける詩は五行で書くな。五行で書ける詩は六行にするな。自らをいましめ、心を磨き、言葉を研ぎ澄ませる。

私たちもこの詩謡集を、天国の星野先生に見て頂くつもりで、これからもひたすらに自分磨き、言葉磨きをしていきたいものです。

合掌

巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・会長 湯川 れい子……………一

四季のメモリー……………藍 慶子……………一六

別れてサンバ……………A U N……………一七

おんなの川……………青木圭介……………一八

ふるさととは走馬灯……………明石真帆……………一九

君と幸福に……………赤坂佳津子……………二〇

紅花流れ唄……………秋篠さと……………二一

衣衣の袖しぐれ……………秋原美真……………二二

譲り葉の宿……………秋山たけし……………二三

幸せの意味……………麻 こよみ……………二四

霧の川……………麻木夢子……………二五

濡れ落葉……………浅野淑恵……………二六

穂の惚の便り……………飛鳥美勇樹……………二七

女の三陸海岸……………アベ・イチロー……………二八

維新の里……………天達美代子……………二九

泡沫 うたかた……………彩……………三〇

ひとりぼっち酒……………荒川利夫……………三一

一本桜……………荒木都与雪……………三二

想い人……………粟 てるこ……………三三

冬うらら……………安藤 潤……………三四

北の根室がやっぱりいいね……………安藤 美津子……………三五

母 娘……………飯塚義美……………三六

望郷恋歌……………生駒 かつゆき……………三七

今も・あのひとは……………イザワ マサミ……………三八

風のため息	石井静流	三九
ひぐらし晩夏	石浦 洸	四〇
古い映画	石原信一	四一
バス停の灯りの下で	石原弘見	四二
駅裏酒場	泉 俊輔	四三
貴男の背中	泉 美子	四四
瀬戸あかり	市川 武志	四五
北のふるさと	一森さとし	四六
礎 ―いしずえ	伊藤 あい	四七
きみの手のひら	いとう 彩	四八
ふるさとさん	伊藤 彰二	四九
花 火	井上裕 允	五〇
夕影草 <small>ゆうかげぐさ</small>	井上 ゆうき	五一
青 春	伊武 トーマ	五二
ネオンぼたる	入来 英一	五三
わかれ道	岩部 恭子	五四
愛染暦 <small>あいぜんごよみ</small>	右近 かつゑ	五五
男の嘆き	鶴水 いさお	五六
枯葉の街	笛 吹とみ子	五七
俺の旅立ち	榮 次郎	五八
漫ろ雨	及川 莉代	五九
ミモザの花	大賀 たかし	六〇
チヨメチヨメ音頭	大友 健	六一
二度と他人になるものか	大原 愛	六二
哀愁の街 <small>くれない</small>	大前 裕子	六三
紅	岡 みゆき	六四
酒場の女	小川 豊	六五

哀愁	奥	雪義	六六
運	小口	幸重	六七
ああ：おそかった	小山内	圭	六八
小犬(キヤン)	おさべ	あさ	六九
こころのひきだし	織田	まり	七〇
長崎ひとり	小田木	由衣	七一
劇場中継『深川情話』	甲斐	新	七二
泡沫	甲斐	ゆたか	七三
中馬塩路郎	開前	志朗	七四
野良猫 (Ailey Cat)	片桐	和子	七五
情念夜叉	勝田	守	七六
惜秋歌	かとう	通流	七七
夢あかり善光寺	金井	ゆきお	七八
対馬海流	金谷	怜沙	七九
ワタポンポン	神里	美和子	八〇
おんな手毬唄	川	英雄	八一
妻をしのんで一人旅	河	秀成	八二
薩長同盟	かわいだけんいち		八三
フロリダ	川島	条	八四
帰えり道	川村	一希	八五
〃ゆつくり歩こう〃	芳	三知余	八六
女・沖仲仕	岸田	のぶや	八七
森の石松旅姿	北村	けいこ	八八
夢あした	北村	直之	八九
土佐は龍馬か、この俺か	貴船	たぐし	九〇
おふいすの：恋	木村	賢司	九一
坂本龍馬	京	光恵	九二

可 ^あ 惜 ^た 夜 ^よ ……………	霧野ゆう……………	九三
渋谷ものがたり……………	工藤通昭……………	九四
まだらの夢……………	久仁京介……………	九五
日向 ^{ひゅうが} 、飴肥 ^{おひか} 街道 ^{かいどう} ……………	くに多樹夫……………	九六
京の夜叉 ―地の果てまでも―……………	國枝星志……………	九七
胡蝶の夢……………	国武浩之……………	九八
漂流のうれい……………	久保泉……………	九九
さすらい川……………	熊たけし……………	一〇〇
眞夏 ^{なつ} の三日 ^{みかづき} 月……………	倉卓也……………	一〇一
スツカラカン節……………	倉藤有道……………	一〇二
妻よありがとう……………	黒川良人……………	一〇三
雨、雨の赤坂……………	黒崎慶子……………	一〇四
世話女房……………	高坂のぼる……………	一〇五
レモン色の秋……………	小島香澄……………	一〇六
笛が聞こえる港……………	小嶋高志……………	一〇七
卑 ^ひ 弥 ^み 呼 ^こ さま……………	古田土恵子……………	一〇八
花見小路 ^{はなみこうじ} ……………	小宮えり……………	一〇九
ふたつの葉……………	近藤英子……………	一一〇
百年の恋……………	紺野あずさ……………	一一一
紅 ^{べに} もみじ……………	彩ちかこ……………	一一二
函館ドックオブザベイ……………	さいさく……………	一一三
情けにもろい……………	斉藤清人……………	一一四
桜 雪……………	さいとう大三……………	一一五
面影橋……………	齋藤力……………	一一六
男の後まつり……………	斉藤葉月……………	一一七
愛の夫婦道……………	斉藤向恵……………	一一八
これでいいんだ……………	坂口君代……………	一一九

ひとつの願い	坂本 寿美子	一一〇
ひつつき虫	佐々木 ひさこ	一一一
まいうーの歌	佐野源左衛門一文	一一二
…千秋楽… 男の土俵	澤田 芳生	一一三
のすたる・れいにい・いん東京	さん きかく	一二四
残り酒	山 吾充六	一二五
みちづれ酒	椎名 英威子	一二六
万華鏡の夜	汐 咲まどか	一二七
一尺八寸男道	しば ともなり	一二八
ファイトのキャバクラ	島 勝興	一二九
帰ろうよ	島 馨子	一三〇
しあわせ見つめて	嶋 八郎	一三一
夜霧の二人	ジミー 大越	一三二
あさがお草子	下野 登美子	一三三
風のホノルル 永久の街	白 簾慶子	一三四
「男ゆえ」	城山 正志	一三五
あんたが好きやねん	助田 ひさお	一三六
きみの瞳のなかに	菅野 政義	一三七
息子よ頑張れ	鈴木 信也	一三八
二日月	鈴木 紀代	一三九
グリーンツーリズム	鈴木 こういち	一四〇
人生ほどほど	鈴木 信子	一四一
落ちてさうろう恋もみじ	鈴木 はるか	一四二
日本列島村おこし	鈴木 康正	一四三
散り紅葉	須田 厚子	一四四
牛歩のごとくに人は生き	捨 大吉	一四五
風に逆らい 風に乗れ	砂川 風子	一四六

ふるさと日本の歌	春原茂幸	一四七
ナガレ者	関 えいじ	一四八
望郷拳	関 東西	一四九
山ふところ	関口義明	一五〇
大きな背中	瀬端健二郎	一五一
山 桃（やまもも……妹）	仙 孝緒	一五二
深山恋情話	曾我幸義	一五三
長崎の雨	たか たかし	一五四
恋 蕾	高丘 よしと	一五五
今宵タンゴで	高田れい子	一五六
時には演歌を聞きながら	高塚和美	一五七
貴方一人を信じています	たかなべ 秀	一五八
信濃路慕情	高橋耕作	一五九
里帰り	高橋建雄	一六〇
鏡	高橋直人	一六一
哀愁のキエンセラ	高畠 じゅん子	一六二
冷や酒人情	多岐川 大介	一六三
水車小屋の唄	たきの えいじ	一六四
想 い	たくわん	一六五
九十九里浜 母の海	田 沢 庄 笹	一六六
雲の上のあなた	田 島 隆 夫	一六七
はつ恋 長崎	建 石 一	一六八
鎌倉心中	田 中 いぶき	一六九
女が一人で飲む酒は	田 中 なるみ	一七〇
歌舞伎『籠釣瓶花街酔醒』より	籠釣瓶 たなか ゆきを	一七一
プレーボール	谷 口 文 彦	一七二
ふるさととは遠く	たにはら 伸	一七三

〈全国温泉音頭〉	宮城温泉ひと巡り	多野亮	一七四
地球酒	・・・・・・・・・・・・・・・・	玉利要	一七五
わかれ雪	・・・・・・・・・・・・・・・・	田村和男	一七六
おやしさんへ	・・・・・・・・・・・・・・・・	田村忠雄	一七七
夕顔挽歌	・・・・・・・・・・・・・・・・	千秋かな	一七八
新宿行きの夜行バス	・・・・・・・・・・・・・・・・	千草三紀	一七九
流水夫婦船	・・・・・・・・・・・・・・・・	塚口けんじ	一八〇
ぬくもり	・・・・・・・・・・・・・・・・	辻正司	一八一
林檎	・・・・・・・・・・・・・・・・	辻伸一	一八二
坂東太郎流れ旅	・・・・・・・・・・・・・・・・	津田雅道	一八三
花模様	・・・・・・・・・・・・・・・・	つのかわ圭介	一八四
歌舞伎町エンペラー	・・・・・・・・・・・・・・・・	つわの光路	一八五
わらべっこ唄	・・・・・・・・・・・・・・・・	出口タツ香	一八六
あなたは今どこに	・・・・・・・・・・・・・・・・	てしがはらじろう	一八七
ふたりきり	・・・・・・・・・・・・・・・・	天馬良	一八八
想いで	・・・・・・・・・・・・・・・・	東大寺俊	一八九
ラバウル小唄を唄います	・・・・・・・・・・・・・・・・	とがしゆうじ	一九〇
夫婦	・・・・・・・・・・・・・・・・	戸川勝喜	一九一
ときがわ慕情	・・・・・・・・・・・・・・・・	戸川智砂子	一九二
空のように花のように	・・・・・・・・・・・・・・・・	飛田多恵子	一九三
夏つばき	・・・・・・・・・・・・・・・・	外山尚子	一九四
花ごよみ	・・・・・・・・・・・・・・・・	豊浩二	一九五
似た者同志	・・・・・・・・・・・・・・・・	鳥羽貞子	一九六
雪幻哀歌	・・・・・・・・・・・・・・・・	永井セーラ	一九七
小さな幸福あればいい	・・・・・・・・・・・・・・・・	中川淳	一九八
花よ都市の明日に咲け	・・・・・・・・・・・・・・・・	長澤あきら	一九九
老後のブルース	・・・・・・・・・・・・・・・・	ながた恵秋	二〇〇

津軽兄弟三味線	長塚京子	二〇一
拔海駅	那須野巖	二〇二
男 俠	仁井谷俊也	二〇三
一期一会	西井戸学	二〇四
こんな男に俺はなりたい	西田ただすけ	二〇五
人生夢灯り	西平としこ	二〇六
雪国の町	西村忠一	二〇七
心に手鏡を	西山和風	二〇八
恋の長沼	沼田落葉	二〇九
夏の娘に	NO MOS	二一〇
愛すればこそ	野沢冬子	二一一
天城の雨の宿	のべひろし	二一二
明治生まれのおふくろさん	橋本和郎	二一三
いちやもんぶるーす	ハチャン・K	二一四
俺の自動車ポツポ	羽場新一郎	二一五
人生途中	林利紀	二一六
星と涙と想い酒	原伸二	二一七
男の酒	原文彦	二一八
魂の叫び	平井歩果	二一九
心友よ	平井健一	二二〇
空を見上げて	弘 せりえ	二二一
巢鴨ヨン様地藏音頭	風 雅也	二二二
殿と姫	福井康修	二二三
首都圏乗り物哀歌	藤浦 譲	二二四
夢つゞり：男人生	藤岡和子	二二五
検閲ごっこ	藤本尚子	二二六
未練情話	藤安五月男	二二七

ヤ行に残る靖子さん	麓霧子	二三八
ドラ猫ぐらし	平誠三朗	二三九
望郷歌	星合節子	二三〇
夢づくり	星川成一	二三一
未来のために	堀日出紀	二三二
風鈴	堀内和香	二三三
対馬海峡	堀江重吉	二三四
ふるさとの話をしよう	本郷彩	二三五
人生素裸	梵天丸	二三六
♪… 天空の都高野山	本間正成	二三七
ホテルみなどや	舞風子	二三八
モン・シエリー	榎映二	二三九
天使 時には 悪魔	牧野おさみ	二四〇
リーマン渡り鳥	松井眞佐子	二四一
てるてる坊主	松尾江里也	二四二
一徹	松尾博之	二四三
雄蝶と雌蝶	松尾ゆきを	二四四
伯耆富士	松野捷夫	二四五
街角酒場	松原かおり	二四六
北へ手ぶらの旅がいい	松原高久	二四七
紅葉宿	松本撰子	二四八
オトシマエ	松本礼児	二四九
盂蘭盆	円恵介	二五〇
漁師の女房	真矢とし子	二五一
恋 盗人	丸山八留男	二五二
大峯山	まんだあつこ	二五三
くれないの丘	三浦康照	二五四

秋さなか	三尾孝祐	二五五
人の恋路を邪魔する奴は	美貴裕子	二五六
土	三木政和	二五七
新宿地下道ブルース	美貴史明子	二五八
津軽三代	三里こうじ	二五九
揚羽蝶の飛ぶ頃に	水木れいじ	二六〇
父と母の詩	水嶋彩木	二六一
秩父・花風車	水野鮎子	二六二
遠い春	みずみ隆	二六三
人生勝負の時	南早苗	二六四
占い酒場	みね隆	二六五
あばれ天龍 勘太郎	峰八朗	二六六
酒場のひと	峰よしを	二六七
点苔	峰崎林二郎	二六八
夫婦福笑い	みやの舞	二六九
雁坂峠	宮原哲夫	二七〇
赤提灯	深山大仁	二七一
深川おやじ情伝	宮村雅楽	二七二
スカイツリーに魅せられて	武笠和夫	二七三
名曲喫茶	村上文恵	二七四
エレジー「南十字星の彼方に」	諸江一朗	二七五
「博多南」から	矢坂秀司	二七六
俺は一生船に乗る	やのみゆみ	二七七
焦がれて…信濃川	山上はるお	二七八
金婚祝酒	八巻功	二七九
望郷りんご	山口しげひさ	二八〇
流れ旅日本海	山里幸平	二八一

ひとり安曇野	山田孝政	二八二	
不思議な妙薬	山田那津子	二八三	
恋ヶ浜	山田博康	二八四	
桔梗慕情	やまだりゆう	二八五	
遠い日	大和正雄	二八六	
少年の日の夏物語	かあちゃんの風が	やまみやじゅん	二八七
とは申しまでもねえ	山本萬里歩	二八八	
人生峠まで	山本ユリエ	二八九	
この広い空のどこかで	湯川れい子	二九〇	
馬鹿な女のブルース	ゆきちかげ	二九一	
みずあかり	ゆら悦子	二九二	
雨の室生寺	由梨恵子	二九三	
心の砦	横森葉子	二九四	
秋海棠	吉川徳子	二九五	
ありがとう	吉田静江	二九六	
浪花の通り抜け	龍高正	二九七	
古都の舞	連達人	二九八	
風車の宿	若林澄人	二九九	
別れても	若松かつ子	三〇〇	
夜の大阪おんな川	綿木義昭	三〇一	
秋の夕暮れ	渡辺蛭雪	三〇二	
追憶のラブミーテンダー	渡辺久士	三〇三	
人恋しぐれ	わたなべ泰彦	三〇四	

題字
表紙絵

星野哲郎
湯川れい子